

こざくらだより

第92号

2013.3.1 発行

ユウパニコザクラの会
事務局

〒068-0412

夕張市鹿の谷東丘町3
水尾君尾方

TEL/FAX 0123-52-3306

E-mail
kozakura@m8.dion.ne.jp

ホームページ
<http://yuparikozaokura.org/>

新春こざくらだより

発行にあたって

ユウパニコザクラの会

代表 藤井 純一

昨年以上に雪の多い新年を迎えられたこと
と思います。

一月の夕張岳ヒュッテ周辺は例年より一メー
トル程少ないような気がします。

昨年雪の降るころ部分完成し、厳しい寒さ、
雪の重さに耐え貫いた新夕張岳ヒュッテが一
月二十六日、総勢十名の精鋭雪下ろし隊の前
に現れました。心配したことは何も起きてい
ませんでした。

南極観測船「しらせ」は昨年に引き続き
昭和基地の接岸に失敗しました。基地から

十八キロ離れたところにアイスアンカーを打
つことを余儀なくされたようです。それに引
き替え我が雪下ろし輸送隊はヒュッテ前一
メートルに横付けしました。近年稀に見る快
挙を成し遂げました。ロジスティクスの役目
を立派に果たしたと言えますよう

屋根の雪下ろし隊の働きもすぐその日の
うちにほぼ終了してしまいました。何だか春
から良い予感がします。

とは言え今年は登山者を受け入れなけれ
ばなりません。内装工事が待ち受けています。
たぶん八月くらいまでは旧ヒュッテが使用で
きると思います。その間二ヶ月足らずの突貫
工事ですが、皆様の力を結集して内部の工事
をしなければなりません。内装工事は面白い
のですが、なかなか捗りません。二階部分は
手がつかず見切り発車となりますが、皆様の
ご協力よろしくお願いいたします。

何時になつたら楽な年が来るのか。今年も



任務を果たして帰路へ発つ 1月27日

盛りだくさんな年になります。二十五周年誌・
祝賀会・NPO法人化の検討・バイオトイレ
の設置等々。気が遠くなりそうです。そこそ
この人は無理のないように、比較的若い人は
少しだけ無理をして、次年度も頑張りまし
ょう。

「夕張岳は先祖から相続したものでな
く、子孫から借りているものなのです。」あ
れっ！どっかで聞いたような気がしますね。
今私たちがやっていることはまさに未来の子
どもたちのためです。怪我無く一年やりま
しょう。

夕張岳とユウパリコザクラの会 「日本山岳遺産」に認定される

副代表 秦野 公彦

二〇二二年度、道内で初めて日本山岳遺産に夕張岳が認定団体として選ばれました。二〇一〇年に設立した日本山岳遺産基金は、「次世代育成」「山岳環境保全」「安全登山」の三つのテーマに沿った活動を展開している団体に送られています。

山梨県檜形山、小金沢シオジの森、乙女高原、愛媛県石鎚山、岩手県早池峰山、熊本県九州中央山地五家荘エリアなどが認定団体として支援を受け活動しています。

二〇二二年十一月十五日、今回の認定申請に手続きして頂いた河村健さんと東京へ。認定式は、目黒区恵比寿ガーテンドーム。今回認定されたのは。

夕張岳（北海道）ユウパリコザクラの会
七時雨山（ななしぐれざん）（岩手県）七時雨口マンの会

臥龍山（がりゅうざん）（西中国山地国定公園）芸北自然保護レンジャー

の三団体でした。

認定式の後に遺産認定地からのプレゼンテーションがあつて発表してまいりました。

ユウパリコザクラの会発足は一九八九年夕張岳に大規模なスキー場計画があつてその反対運動を契機に設立され、夕張岳を国の天然記念物に指定されたこと。

その後、高山植物の大量盗掘事件から盗掘防止パトロールに力を入れ北海道希少野生動物植物保護条例の制定に中心的な役割を果たしたこと。

三年前より老朽化した夕張岳ヒュッテの再建には、多くの皆さんに寄付をして頂き、ボランティアでやつと外装まで扱ぎつけたこと。

エゾシカによる高山植物の食害防止に電気柵などの設置作業に協力していること。

産炭地域子供交流事業を毎年開催し、子供たちに夕張岳の貴重な自然



認定書授与



プレゼンテーション

と高山植物について体験させていること。二〇二三年にはユウパリコザクラの会二十五周年に向けて記念誌の作成に取り組んでいることなどを発表してまいりました。

そのあと日本山岳協会顧問、田中文男氏から、それぞれの地域で自然保護と次世代育成に取り組んでいることは、すばらしいことだと講評して頂きました。ただ、近年、高齢者中心に山岳遭難が増え続けており、また、山ガールと言われる初心者も急増している。そのため、安全登山啓発活動に努めて頂きたいと話されました。

日本山岳遺産基金通信No.004 (2012年12月25日発行)
より当会部分転載

認定番号 No.007

**夕張岳 (北海道夕張市・南富良野町)
活動団体=ユウパニコザクラの会**

夕張岳(1668m)は、北海道夕張市と南富良野町に位置し、蛇紋岩という特殊な岩でおおわれ、ユウパニコザクラやユウパリスウといったこの山に固有の高山植物が多数生育しています。そのため、国の天然記念物に指定され、田中澄江著『花の百名山』にも選ばれています。

..... **活動団体**

ユウパニコザクラの会は、2002年から夕張岳で高山植物の盗掘防止パトロールを行い、近年は、安全登山と高山植物保護の拠点として重要な夕張岳ヒュッテの再建や、エゾシカによる高山植物の食害防止にも取り組んでいます。

..... **認定理由**

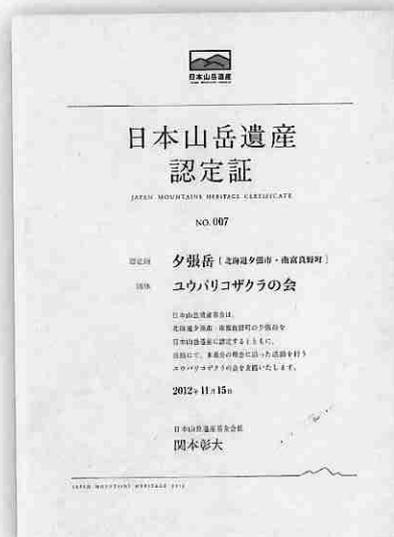
2014年に創立25周年を迎えるユウパニコザクラの会は、夕張岳の特徴ある豊かな自然と、抱えている問題を紹介する記念誌を発行し、夕張市の中高生と全道の市町村図書館などに無償配布します。この啓発の価値と、そもそも日本有数の高山植物の宝庫である夕張岳において、四半世紀にわたって、国の諸機関や地方自治体を巻き込んだ保護活動を展開してきた点を評価し、本年度の日本山岳遺産認定としました。

第二部では、最年少で世界七大陸最高峰登頂を達成したアルピニスト野口健さんの特別公演がありまして、エベレストや富士山清掃登山を精力的に続けていることなど、「環境問題は、最初から取り組んだのではなく、山を登っていきついたもの」と興味深い話に感銘を受けました。
終了後、河村さんと交流会に参加。七時雨口マンの会、芸北自然保護レンジャーの皆様

さんとそれぞれの活動について意見交換をして無事に日本山岳遺産サミットを終了しました。記念品に夕張岳の模型と山岳遺産基金の目録を受け会場を後にしました。
すでに会では二十五周年記念誌作成に向けて、編集会議を二回開いています。原稿依頼から写真集めなど、これから皆さんにお願いしなければならぬかと思えます。
よろしくお願いたします。



同会は北海道の高山植物保護活動の草分け



認定証

ヒュツテの屋根の雪下ろし

2013・1・26・27

明田 通世

前夜事務局宅に集まったのはH代表以下七名そして当日には清水沢駐車場に四名と雪下ろし作業の精鋭部隊十一人集合しました。シユーパ口湖にかかる白銀橋が発発地点、荷物はモービルで出発、サブザックを背負い本隊は十四キロメートルの長旅となる。予想に反して空模様は明るいが気温はマイナス十五度と類に突きさすように痛い。白銀の世界を小動物の足跡にそして芽をつけた樹木に話題をとりながら黙々と歩く。ヒュツテに着いた時にはKさんが玄関の深い雪をかき分け中に入りストーブをつけて暖をとってくれている。すでに入り口の屋根は一・五メートル強の積雪、新旧のヒュツテ屋根上はそれ以上に積もっている。集まった我々はあまりの多さにあつげにとられ「あした帰れるだろうか」と心配顔(^^)!!でもやるしかないそれからは個々に屋根に上がり作業に取りかかる。ヒュツテ

内は冷えているので上の雪は硬く締まり雪崩る心配をよそに総指揮官Kさんのもと慎重に手順よく進める。雪下ろしは名人級のNさん、声はするが手数が少ないHさん、夫婦で頑張るTさん、黙々とカットするIさん、初めて参加のA、トイレをまかされたA嬢とOさんは高い所はお手の物。今日の終了時刻は十六時三十分、それから安着祝いと慰労を兼ねた談は夜遅くまで続くことになる。いつもはあてにされないモービルが今日一番の活躍とみなさん共通の評価、ご主人の顔は(^^)。昨夜は吹雪で風が吹き荒れていて起きてみると二十センチ弱積もっていたが、残る作業に精を出す。新旧隣り合う部分は雪の持つて行くところがなく横移動となりそりで運び出すのも重労働の連続となりました。ジュニアの活躍には目を見張りやはり若さです。力を合わせて十時前にはすべて終了し笑顔と疲労感を混ぜて帰路につきました。最後にモービルの練習を設定してもらいそれぞれが奮闘するも、技量がまだまだのようでした。

終わりに厳冬期に馳せ参じてくれたユウバリコザクラ会の面々に本当に感謝し、新ヒュツテも最高に喜んでくれたことと思います。



新ヒュツテ雪下ろし作業



現ヒュツテとトイレ棟雪下ろし作業

空知森林管理署訪問

森林パトロールを更新

年明けて一月十八日空知森林管理署桃木署長と工藤流域管理調整官を訪問し、平成二十四年度のパトロール活動報告と、ヒュッテ建替の現況について情報交換を行いました。

平成二十五年度については、要望事項として登山道の笹刈りと森林コースの補修整備。森林パトロールボランティア協定の継続更新を確認しました。

また、ヒュッテ建替で多大なご協力をいただいた道森林管理局へ祝賀会のご案内と、日本森林業振興会へ助成要望も合わせてお願いしました。



空知森林管理署 桃木署長（右側）

山の自然学クラブ

活動発表会に参加して

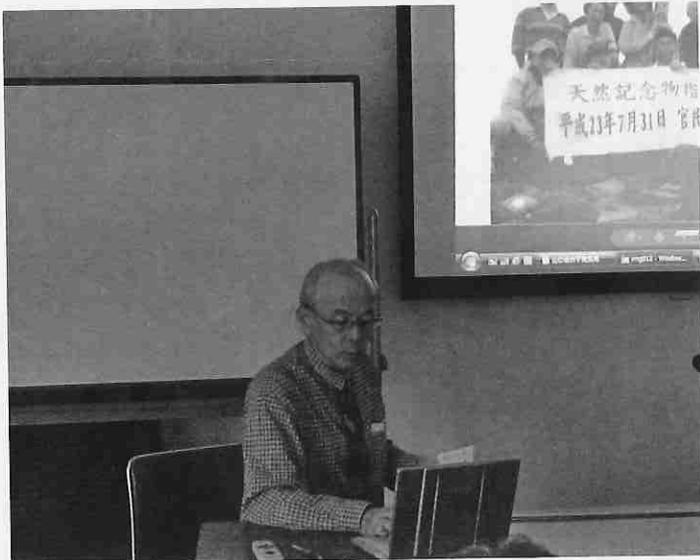
ユウパリコザクラの会

会員 伊藤 泰弘

エコギヤラリー新宿二階環境学習情報センター研修室で、山の自然学クラブの活動発表会が二〇二二年十二月十六日に行われました。山の自然学クラブには入会してもう十年になります。初めての参加であり発表でした。発表の内容は秦野さんから頂いた写真をもとに夕張岳の自然や登山パトロールのことそしてヒュッテ建設のことなどを紹介してきました。質問もいくつかあり、その中にユウパリコザクラを研究している人を紹介して欲しいと言われ、「ん？そんな人いたかな。」と思いつつ、「是非、夕張岳に登って観察して欲しい。」と答えました。

他の会員からは、「三陸・北上地域の支援活動」や「志賀と上高地でインタプリタ活動」などの発表があり興味深く聞いてきました。インタプリタとは、「自然を解説する」と言う意味らしいが、発表の内容は「自然との遊

び方」であった。発表を通して感じたことは、教科書通りではなく自由な発想であったこと。例えば、倒木の写真から「この木は何故倒木したか。」を述べる場面がありました。他の会員が面白く笑いながら聞いてきました。他の会員からは「その説には無理がある。」と突っ込みがありさらに笑いを誘っていました。倒木の写真からこれだけ盛り上げるのに感心し、自然との遊び方として大変参考になりました。



伊藤 泰弘 会員

「田んぼdeミュージカル」脚本家
 斉藤征義さん文部科学大臣表彰
 祝賀会に出席して

水尾 君尾

詩人で宮沢賢治学会副代表理事など歴任されている斉藤さんは、文化庁の今年度地域文化功労者に選ばれました。

一月二十日穂別町民センターでの受賞祝賀会に出席しました。

二〇〇二年発足の高齢者映画制作集団「田んぼdeミュージカル委員会」では、これまで全四作品を十年かけて制作、上映回数は全国で千力所にも。

当日は福島の小中学生が参加した映画「歌うぞ、踊るぞ、海の森で／ふくしまキッズ穂別の夏」の上映会と、賢治の詩の朗読プレゼントがあり、歌い踊る町民の輝く姿に、心打たれています。

斉藤さんおめでとうございます。



斉藤征義氏（中央）祝賀会会場にて

ユウパリコザクラの会 25周年記念誌への寄稿のお願い

お陰様で当会は設立 25 周年を迎えることができました。
 日ごろから夕張岳の保護活動にご支援・ご協力いただいています
 会員の皆さまから記念誌へご寄稿くださいます様お願い申し上げます。

1 記念誌の内容

- 特集
1. エゾシカ対策事業（生物多様性保護）
 2. ヒュッテ建替事業（安全登山）
 3. 子ども交流事業（山岳遺産を次世代へ）
- ・夕張岳の豊かな自然（地質、植物、昆虫）
 - ・夕張岳は永遠に（他団体と交流事業）

2 原稿の内容

- ☆原稿は 2 枚程度（400 字詰）
 - ☆写真・イラストありましたらお貸しください。
 - ☆原稿締め切り日 6 月 15 日
 - ☆中高校生にも配布する予定です。
- 子供たちにも理解できる内容でお願いします。

3 原稿送付・問い合わせ先は会 事務局へお願いします

4 発刊予定日

平成 26 年 3 月末日

会のうごき

11月

- 3日～4日 ヒュッテ作業 4名
- 9日 拡大役員会ミーティングルーム 7名
- 12日 こざくらだより第91号発行
- 15日 第3回日本山岳遺産サミット式典
日本山岳遺産認定証授与
(全国で7番目)
夕張岳のプレゼンテーションを行う
会場 都内恵比寿・秦野、河村出席
- 17日 北海道高山植物保護ネット主催
2012年度市民フォーラム
「お花畑はいま・・・」
・講演 川合由加(北海道大学院)
萩原康政(道環境生活部)
佐藤 謙(北海学園大学教授)
・若手研究者による研究事例の紹介
・各地からの現状と課題について
5本の報告と夕張岳からの報告

- 24日～25日 ヒュッテ荷上げ作業 5名
- 30日 斉藤浪子様より当会に金沢山岳文庫
(当別町) 展示のスキー教材一式の寄贈を受ける

12月

- 4日 市まちづくり企画課、教育委員会訪問
日本山岳遺産認定及び基金助成についての報告
- 7日 役員会 25周年記念誌編集会議
ミーティングルーム 8名
- 11日 市教育委員会訪問
「ヒュッテ完成祝賀会」について市と共催で行う事を要望 2名
- 15日 環境省主催 北海道共催 生物多様性地域連携促進セミナー in 北海道
講演 竹田純一 農山村支援センター事務局長
笹淵紘平 環境省生物多様性施策推進室
各地での事例発表 4本、ワークシヨップ
会場 ACU(アキュ) 大研修室(札幌)
当会資料展示 5名参加
- 16日 ヒュッテ巡視パトロール 3名
- 22日 三役会「祝賀会」打合せ
ミーティングルーム 4名

2013年

1月

- 5日～6日 ヒュッテ林道道付作業 3名
- 18日 空知森林管理署訪問 藤井、水尾
ヒュッテ建替森林パトロール打合せ
- 19日 役員会 記念誌編集会議
ミーティングルーム 6名
- 20日 斉藤征義さん文部科学大臣賞受賞
祝賀会 会場穂別町民センター
水尾出席
- 26日・27日 ヒュッテ雪下ろし作業 10名

2012年パトロール活動報告

- 森林パトロールボランティア
(森林管理署と協定)
6月～10月 5回実施 延42名
- 高山植物パトロール
(北海道と受託協定)
6月～10月 随時実施 延129名
- 官民合同パトロール
(空知総合振興局主催)
6月～7月 3回実施協力 延14名
- 高山植物被害防止活動
(エゾシカネットワーク主催)
4月～10月 7回実施協力 延15名

ヒュッテ建替 作業従事者報告

- 沼ノ沢仮組現場作業 6月～8月 延460名
- ヒュッテ土台・本組現場作業 6月～10月 延400名

2013・ヒュッテ開き

本年度のヒュッテ開きは **6月22日(土)** を予定しています。

新ヒュッテの内装工事は 3月から準備を進めますので、会員皆さまのお力添えをお願い致します。

新ヒュッテを飾る 書の紹介

2013年新春 書・絵画展が市民研修センターで開かれました。新ヒュッテの看板を揮毫された比志道子会員の展示作品が新ヒュッテを飾る第1号となります。



夕張書道連盟の皆さんと比志道子さん(右側)
1月31日 市民研修センター

今後の日程

春山パトロール

恒例の夕張岳春山パトロール兼ヒュッテ調査を下記の日程で実施します。装備は山スキー又はスノーシューが必要です。

振ってご参加下さい。

日時 平成25年3月23日(土)午前8時～
24日(日)午後5時予定(一泊二日)

集合場所 清水沢お買物駐車場

リーダー 秦野公彦 サブリーダー 藤井純一

参加者に装備等の詳細についてお知らせ致します。
申し込み・お問い合わせは会の事務局まで

ヒュッテ完成祝賀会のご案内

市教育委員会と共催により、夕張岳ヒュッテ完成のお祝いを下記の日程で開催する運びとなりました。ヒュッテ建替計画にご協力いただきました皆さま方から激励メッセージ等を賜りたく、祝賀会にご出席くださいます様ご案内申し上げます。

とき 平成25年5月18日(土)

午後1時受付

午後1時30分開会

会場 ゆうばりホテルシューパロ

TEL 0123-52-2400

会費 5千円 市内各地区送迎バス無料

出欠のご案内は3月中旬発送予定
問い合わせ・申し込みは会の事務局へ

中間報告 No9...

ヒュッテ建替え一万人委員会より
第9回報告(1/31現在)

860名 6,416,015円

みな様の温かいご支援に対しまして心よりお礼を申し上げます。3月には内装工事に取り掛かる予定でいます。引き続きみな様のご協力をお願い申し上げます。

会費の継続納入・ご寄付 ありがとうございます

お陰様で当会は来年度25周年を迎えます。夕張岳の自然に興味のある方、当会の活動に関心をお持ちの方、ヒュッテ建築に関わってみたい方は会事務局までご連絡お願い致します。

年会費 2,000円 家族会費 3,000円

名義 ユウバリコザクラの会

郵便局振込口座 02780-9-43747

定期総会のご案内

日本山岳遺産認定と基金助成を受けて25周年記念誌作成会議が開始しました。今年度は創立25年度目となり節目の活動を迎えます。

- ・夕張岳関係者協議会が設置されて 20年
- ・森林パトロールボランティアの協定 15年
- ・高山植物パトロールの協定 10年
- ・子ども交流体験登山事業 5年目
- ・ヒュッテ保守、管理の委託 5年
- ・旧ヒュッテの解体、新ヒュッテの譲渡式等々

と新たにNPO法人化の検討等があり盛りだくさんの課題が待ち受けています。

平成24年度活動報告と平成25年度の活動計画を決める定期総会を下記の日程で開催します。会員の皆様のご出席をお願いいたします。

日時 平成25年5月18日(土)

午前9時30分～

会場 ゆうばりホテルシューパロ

2F竜仙の間

夕張市本町2丁目

TEL 0123-52-2400

熊谷、伊藤特定建設 工事共同企業体

夕張シューパロ作業所様へ感謝状

当会の藤井純一代表は2月6日新ヒュッテ再建計画に多大なご協力をいただいた夕張シューパロ作業所 松本新二所長様を訪ね感謝の意を表して感謝状を贈呈しました。



夕張シューパロ作業所 松本新二様(右)